

# 共立女子大学文芸学部報

文芸学部報 第一二三号  
編集責任者 池上公平  
二〇一五年十一月一日  
共立女子大学文芸学部発行  
東京都千代田区  
一ツ橋二二二

学部報に関する  
ご意見・ご感想を  
お寄せ下さい。  
E-mail:  
gakubuh@  
kyoritsu-wu.ac.jp

## 城址巡りの喜び

近藤瑞男

三年ほど前から、城址巡りを楽しんでいる。その土地での買い物(無駄遣い)も喜びだし、各地の食べ物もたまらない。毎月のように出かけて、今まで百二十程度の城址へ出かけたのだろうか。これには考えてみると前史があり、また大学の校舎が八王子にあった頃、何か楽しみを見つけて出そうと、八王子城址巡りを計画したことがあった。ちなみに八王子校舎は、その昔八王子城主のお姫様がお月見をした所であったという。日文の内田先生の友人藤本正行さんが説明係で、何人か助手さんも一緒だったように思う。藤本さんは専門家を歩きながら、ここが待の集まる部屋だとか、ここが便所だとか、まあ自分が住んでいるかのようにご説明なさるのだ。城に入る道がかならず直角

に曲がっているのは、戦さの時に重要な意味があるというお話で、今、城址巡りをしながら思い出す。八王子という浮かぶ、楽しい思い出である。きちんと復元されたお城にはあまり興味がなく、石垣だけの廃墟が楽しい。タクシの運転手にいつか、「あそこには何もありませんよ」といわれるほどだ。そのかわり城址のある町には、必ず親切で世話好きな人がいらっしやる。淀城の跡を訪ねた時もそうだった。京阪電車の淀駅をおりてうろうろしているとき、早速男性が声をかけてくださった。その上、城址で案内してくださった。石垣を巡って登ると城址で、井戸と水鉢が残され、まわりには囲いがしてあるのだが、その中に身軽に入って井戸

に石を投げ入れ、深さがどのくらいなのかを説明、そのほかこの城にまつわる史実をさまざま教えてくださった。この方に会わなかったら、井戸のことも、その他の遺構も気づかなかっただろう。それだけではない、城址からの帰り、駅のお菓子屋に入ってお土産を買った時、問われて城址巡りをしていると話したところ、女主人の佃さんが色々土地の話の他、なんと自分が作詞・作曲をした「淀城首頭」のテープをかけてくださったのである。今、いただいた名刺を出して見ると、「明るくやさしい癒しの演歌」「唄わせて下さる場所を探しています」と記されていて、よほどこの曲に愛着を持たれていることが察せられる。皆さんがもし淀に行かれることがあったら、是非、この「淀城首頭」を肉声で聞かれることをお勧めしたい。ちなみに淀は、「飯名手本忠臣蔵」五段目、雨の中、早野勘平がうろろろしている土地でもあり、歌舞伎好きには興味深いところである。親切な人といえば、飯田の城址を訪ねた時にも出会った。飯田は近所にお住まいの平栗ご夫妻の実家で、リンゴの花の季節、花火の時、人形劇フェスティバルの時と、何かにつけてお招きいただいて、お馴染みの町である。にもかかわらず、今年、近くの屋温泉で催される雑祭りに出かけた時、はじめて飯田にも、城址があることを知ったのである。一つは飯田の市内、愛宕神社。ご夫妻も、昔から毎年初詣で参っていた神社が城址とは御存じなく、歴史を知ってびっくりなされたという程である。その後廻ったのが、神之峰城址であった。ここは市内からすこし距離のある場所、車で目指したが、なかなか見つけることができず困り果て、もう戻ろうかと思いついた時だった。道を歩いていらした方が我々の車に乗りこた乗ってこられ、道案内を始められたのである。ちょっとびっくりしたが、わかりにくい道なので、そう言ったらしい。しかもご自宅に電話をかけた、帰宅の遅くなることを報



那古野城址の石碑(「名城をゆく3 名古屋城」小学館刊より)



ナマズ漁の釣具

## 美の旅

北村 弥生

ラオス国境沿いにある小さな街の市場で見た。メコン川のナマズ漁で使われる釣具、全長一二センチ。どうやって持ち帰るんだ。「家人の険しい顔」縦にして光源を中に置いたら放射状の灯がトロリと美しい「ハズ」という心の声に従って持ち帰った。吉田研介氏設計の「椅子フェンス」の上に置いてみた。(きたむら やまこ 教授・メディア社会学論)

## 訃報

石橋義夫前学園長・理事長が本年九月十八日、八十九歳で逝去された。石橋氏は一九九〇年より二十五年にわたって本学の学園長・理事長を務められ、国際化学部(現国際学部)の開設、大学の神田集中化、看護学部開設などを成し遂げたほか、二〇〇三年から二〇〇七年まで日本相撲協会横綱審議委員も務められた。ここに慎んで哀悼の意を表す。

## 大学随想

学部・大学院と共に十四年間も在学した私の母校は、世に言うマスプロ大学。自由放任の校風のもと、学生一人ひとりが丁寧に構ってもらえるような環境でもなく、よく言えばのびのびと、ひねた見方をすればほったらかしで育てられた。そんな私たちの最大の遊び場が、五〇〇冊以上の蔵書を誇る大学図書館。そこに行けば、和書・洋書・漢籍・古典籍、新刊のベストセラー小説から、明治期の学術論文、江戸期の写本・版本まで、探せば必ず必要な本を見つかることができた。だからこそでもあるのだが、その図書館を自由に使いこなせるようになるには、ずいぶん時間がかかった。入学したての頃は、レポートを書く必要に迫られて、学内に設置されている分館を申し訳程度に利用するのがせいぜいだった。本部キャンパス内にある時代がかった建物の大きな食べたいという気持ちが、蛇に二度も遭遇し、蛇嫌いの同行者がささましい悲鳴をあげるのでも、こちらがびっくりさせられた。さて城址の中でも最高は、信長が心血を注いだ安土城址である。近江八幡あたりからタクシというやや不便で何もない地だが、木下藤吉郎の住居跡や武将の墓の並ぶ敷地の血を見ついても、店には人がいなかったり、あまり商売が気のない町だった。それでも和柄や古布のシャツ、木製品などを買い込んで内、携帯が鳴って、同行者はもう城址を見て、飛騨牛の食事処に向かっているという。そこは古い木造建築の立派な家屋で、この食事もお手軽な値段にもかかわらず、大変美味なものだった。もっとも季節による中から目前に現れるなど、城

## 図書館にて

重ねつつ、しょうがないやつらと嘆いていたのだ。そうしているうちに、自分が大学院に進学するの前後して、時代がかった図書館は近代的な新図書館へと移転し、ほぼ全ての蔵書を開架式で利用することができるようになった。蔵書目録もデジタル化され、文献検索も飛躍的に容易となり、私が本格的にそこで遊び始めるのはそれ以後である。広大な書籍

## 山本 聡美

感じつつ、それでも目の前の複雑で多様な知の集積物に目移りしながら、無軌道な読書を繰り返していた。あの頃、もう少ししだいに、体系的に専門分野の文献を読んでおけば、という後悔がないではないが、その時期の読書を通じて得た人文知に対する大いなる信頼感、それは現在私が研究を続けていく上で不可欠なものでもある。人間が生きていく中で経験する喜びや悲し



安土城址(「安土城・1999」安土城考古博物館刊より)



特急文芸急

### 鉄道三昧の旅

藤田 岳久

この原稿を本紙の編集委員から依頼された時は大変驚いた。私が鉄道ファンであることをなぞ編集委員は知っているのか。もしかして、小学校六年生の頃に上野駅で国鉄(現JR)のエル特急のヘッドマーク撮影に夢中になって立入禁止区域に入り込んでしまい、駅長室に連行されたことを知っているのか? いや、そんなわけはない。それとも、ある会で池上



当時の根岸線の車両, 国鉄 103系電車 (出典 Wikipedia 永尾信幸氏撮影)

ここはまあ、鉄道ファンならでは旅を思い出してみようと思う。鉄道には乗りたがいがお小遣いが少なかつた少年達にとつて、国鉄の「東京近郊区間の選択乗車特例」はありがたい主演であり、また観客でもあった。そして、都

### 電車にて

曹 元春

私の故郷の長春では、昔は「電車」といって、主に「有軌電車(路面電車)」と「無軌電車(トロリーバス)」であった。子供時代は路面電車に乗るのが楽しみで、発車と停車の際に車掌さんが鳴らす「チンチン」という鐘の音が心地よかったです。近年は地下鉄ができて、路面電車はほとんど地下鉄とバスに姿を変えてしまったが、幸い、昔を懐かしむ人々のために、一本だけ路線を残してくれた。私も時には用もないのに、わざわざ路面電車に乗ることがある。

後敵は「わかりました」と言っで切符にハンコを押した。話せばわかる、世の中は規則で動いている、日本は法治国家である、というのを少年は悟った。(ホントかよ?) 残念ながら日が暮れると風景を楽しむことはできず、窓ガラスに映る少々疲れた自分の顔とニラメッコだった。こうして鉄道三昧の旅は夜遅く石川町駅にて無事終了した。なんとというか、紀行というよりは「奇行」だな。 最近旅と言えはいつも自家用車だ。時にはのんびりと鉄道の旅にも出てみようか。この奇行のようにセカセカせずに、(ふ)じた たけひさ 准教授・図書館情報学)

### 春は昔の春ならぬ

佐藤 和代

昭和四十一年文芸・国文卒、本林先生のクラスでした。四十八年前になります。 当時東京とその近辺で「共立」と言われて通じないことばかりありませんでした。東京からつくばに転居して十八年になります。今から七八年前の生の男の子から「この学校卒業したの?」と聞かれました。「共立」と答えると「そ



つくば駅地上交差点

な学校聞いたことない!ここにあるの?」という問いが返ってきました。小学四年生の質問とは思えない切れ味の鋭さでした。「女子大のことよく知らないでしょ」と切り返しましたが、内心穏やかではありません。続けて「僕は東大に行くの」とため押ししてきました。 大人げない私はこの天然で率直な男の子を相手にどう言い放ったのです。「先生の出た学校は神田(昔)の学士会館の前にあるの!」 学士会館知ってる。当たり前前ですが、即、返事が返ってきました。「知らない!」とためえ。なんと馬鹿なことを! 子供相手に!と自己嫌悪に陥っていきました。しかしその後この男の子の言葉が大きな意味を持つていたことを知ることになるのです。 近く聞くようになりました。又、他の大学では仏文科が廃止されたり、文系教職の席がないなどという話も耳にしました。そして終いにこの原稿を書いている最中「国立大教員歌にこんなのがあります。

二駅ほど過ぎ、目の前の席が空いたので、腰を下ろして「なんと太陽が出ていて、はさみか。しまったと思った。」「秋霖のことに気をとられて肝心の雨が降るかどうかを聞き逃していたのである。雨降りならありがたいはずの大きい傘が、いまは厄介な存在になってしまった。車内を見渡して「あの悪い思いで答えると、あれから友人と合流して高尾山に登る予定なの」と言う。「いいですね、今日は土曜日だから、私もどこかへ遊びに行きたいです」など言葉交わすうちに、彼女と知り合いになったような気分になってきた。私が中国語の教師だと知ると、彼女は「大学時代に二年間も中国語を勉強したけれど、いまは『你好(こんにちは)』しか覚えてないわ」と笑顔で話してくれた。

つくばでの生活が落ち着いて文芸ネットワークや文化祭に顔を出すようになって、学生数の減少、卒業後の就職の難しさ等々、学生の苦悩を身立大の場合は古い体質を廃して国際競争力をつけるためとか。大学はどこも大きな岐路に立たされていきます。中でも女子大・文系は最も大きな荒波に曝されてきたはず。これが卒業後五十年近く経った母校を取り巻く現実です。「そんな学校聞いたことない」と言った男の子の言葉に身が込みます。このまま何もせずにいて良いのでしょうか。せめて何か抵抗してみたいものです。 良く知られている業平の和歌にこんなのがあります。

### 研究紹介

遠藤 耕太郎

「モノ人の病む儀式」「ニヤム子」の実験と考察(シンポジウム) 病と穢い・病氣治療をめぐる東アジアの比較文化史(『アジア民族文化研究』十四号、二〇一五年三月) 「書評」居駒永幸著『歌の原初へ』宮古島狩俣の神歌と神話(『日本文学』六四巻三三号、二〇一五年三月) 田口 照紀 「両大戦間における日本女性



路面電車

像一紋切り型からキク・ヤマタの女王の国へ」両大戦間の日仏文化交流(BRUIE FRANCO-JAPONNE 別巻) ゆまに書房、二〇一五年三月 福嶋 伸洋 「鏡 Spiegel と反映 Spiegel」ボルヘス会報「迷宮」第十一号、二〇一五年六月 武藤 剛史 「エル・ラビ」『良心的抵抗への呼びかけ』地球と人間のためのマニフェスト 翻訳 四明書院、二〇一五年一月 村井 華代 「イスラエル/パレスチナ対立への演劇的アプローチ」『シルワンの孔雀』(二〇一〇)を中心に「共立女子大学・共立女子短期大学総合文化研究所紀要」二一五号、二〇一五年二月 山本 聡美 「九相図をよむ 朽ちてゆく死体の美術史」KADOKAWA/角川学芸出版、二〇一五年四月

# ターミナルから見る 鉄道文化にしひがし

深津 謙一郎



阪急梅田駅(大阪市)

面行、宝塚方面行、神戸方面行の線路が九本並び、洗練されたマルーンの電車が頻りに発着を繰り返す(写真)。駅の規模だけで見れば東京の新宿駅や池袋駅のほうが大きいはずだが、いずれもだだっ広く雑然としており、阪急梅田駅が醸し出すターミナルの壮麗な雰囲気は東京で味わわせてくれる駅はない。

そこに行くことと心躍る鉄道駅のひとつに阪急梅田駅(大阪)がある。整然とくし形に配された十本のホームに京都方面

「各社」によって日本全国が帝都・東京を中心とする一本の線路で結ばれる。これは見方を変えれば、天皇や皇太子が御召列車に乗ったまま日本全国を「行幸」できるようなことの意味している。

しかし阪急をはじめとする関西私鉄の大半は裏ワザ的な方法——一般の鉄道とは違う法律(軌道条例)に拠って建設された。そのため中央の権力による規制を逃れ、線路幅も国鉄とは違う国際標準軌を採用できた(関西私鉄には御召列車が直接乗り入れられない!). 原氏によれば、このことが、国鉄の鉄道網によって運ばれる中央の文化から相対的に「独立」した関西私鉄独自の沿線文化を開花させる下地になる。その際、大きな役割を果たすのがターミナル駅だった。阪急の場合、梅田ターミナルは国鉄(JR)の大塚駅に隣接するにもかかわらず大阪駅を名乗らず、車内アナウンスでも乗り換えの案内すらしないという。阪急は、

近代に入り、全国に張り巡らされる鉄道(というメディア)は首都と地方との間の時間と空間を抹消して、各地方を首都に向けて収束させた。日本の場合、明治末頃までは国有鉄道(以下国鉄)と略。現在のJR

力による規制を逃れ、線路幅も国鉄とは違う国際標準軌を採用できた(関西私鉄には御召列車が直接乗り入れられない!). 原氏によれば、このことが、国鉄の鉄道網によって運ばれる中央の文化から相対的に「独立」した関西私鉄独自の沿線文化を開花させる下地になる。その際、大きな役割を果たすのがターミナル駅だった。阪急の場合、梅田ターミナルは国鉄(JR)の大塚駅に隣接するにもかかわらず大阪駅を名乗らず、車内アナウンスでも乗り換えの案内すらしないという。阪急は、

「各社」によって日本全国が帝都・東京を中心とする一本の線路で結ばれる。これは見方を変えれば、天皇や皇太子が御召列車に乗ったまま日本全国を「行幸」できるようなことの意味している。

しかし阪急をはじめとする関西私鉄の大半は裏ワザ的な方法——一般の鉄道とは違う法律(軌道条例)に拠って建設された。そのため中央の権力による規制を逃れ、線路幅も国鉄とは違う国際標準軌を採用できた(関西私鉄には御召列車が直接乗り入れられない!). 原氏によれば、このことが、国鉄の鉄道網によって運ばれる中央の文化から相対的に「独立」した関西私鉄独自の沿線文化を開花させる下地になる。その際、大きな役割を果たすのがターミナル駅だった。阪急の場合、梅田ターミナルは国鉄(JR)の大塚駅に隣接するにもかかわらず大阪駅を名乗らず、車内アナウンスでも乗り換えの案内すらしないという。阪急は、

力による規制を逃れ、線路幅も国鉄とは違う国際標準軌を採用できた(関西私鉄には御召列車が直接乗り入れられない!). 原氏によれば、このことが、国鉄の鉄道網によって運ばれる中央の文化から相対的に「独立」した関西私鉄独自の沿線文化を開花させる下地になる。その際、大きな役割を果たすのがターミナル駅だった。阪急の場合、梅田ターミナルは国鉄(JR)の大塚駅に隣接するにもかかわらず大阪駅を名乗らず、車内アナウンスでも乗り換えの案内すらしないという。阪急は、

## オリエント急行 が運ぶ夢

浦野 郁

する二大ターミナル駅を中間駅化した「上野東京ライン」を開通させてしまおうのが関東の鉄道文化である。あくまでも「自前」「独立」にこだわると、宝塚の少女歌劇や芦屋の高級住宅街といった「自前」の沿線文化構築を目指してきたのである。阪急梅田駅には、こうして「反中央(今ふう)に言え反グローバリズム」の「哲学」が隠れている。

いつか、関東の私鉄で阪急に比肩されるのはその高級な沿線イメージから言っても急東横線だろうが、原氏によれば、東横線のターミナル・渋谷駅はJR山手線の駅を「間借り」するようにあり、線路幅も山手線と同じである。独自のターミナル駅を建設し、

そう言えば、つい最近のニュースとして、日本を代表する二人の間に生まれ、オペラ『蝶々夫人』を作った。タイトルロールは武士の娘で、外国人の現地妻として売られていく「ムスメ」はハラキリも辞さない。これが「ゲイシャ」とも混同されて、日本人女性のステレオタイプとなる。日本に滞在すれば、ゲイシャのイメージを受けられる、という幻想を西洋人が抱いていたならば、日本は「西洋人(男性)にとって『憧れの国』」といえる。

### 研究ノート

## 日本とフランスを結びつけた かった女性 キク・ヤマタ

田口 亜紀

長年、西洋にとって日本は遠い国であった。十九世紀までは有徳であることが伝えられ、十七世紀から十九世紀までは伝聞で得た情報からフィクションが膨らんでいき、日本は憧れの国になった。中世フランス語で書かれた『東方見聞録』(マルコ・ポーロ)は日本に関する唯一の情報源だったが、そこで紹介された黄金郷・日本を探究し求めて、コロンブスが航海するの「ムスメ」の話である。

『お菊さん』はフランスの作家ロチによる日本滞在記だが、後に「プッチーニ」がこれを「ムスメ」の悲話に仕立てて、オペラ『蝶々夫人』を作った。タイトルロールは武士の娘で、外国人の現地妻として売られていく「ムスメ」はハラキリも辞さない。これが「ゲイシャ」とも混同されて、日本人女性のステレオタイプとなる。日本に滞在すれば、ゲイシャのイメージを受けられる、という幻想を西洋人が抱いていたならば、日本は「西洋人(男性)にとって『憧れの国』」といえる。

二十世紀に、フランスの読者の嗜好に沿ったかたちで、『芸者の生涯』のような著作を残しながらも、女性が輝く国、「女王の国」・日本というイメージを定着させようとした日本人女性がいた。キク・ヤマタである。一八九七年に日本人の父と

文化を担って、古来より女性性は日本文化の形成と伝統の維持に大きな役割を果たしてきた、とキクは主張した。しかし、満州事変を契機に皇国史観が強調される時勢で、大日本帝国がそのような考えを見逃すはずはない。太平洋戦争下、キクが滞在していた日本で憲兵

クリスティの「オリエント急行殺人事件」や、その映画版の「オリエント急行殺人事件」を聞き、日本でも名前を聞いたことのある人が多いだろう。一流の備品が揃った優雅な客室や、走るレストランというべき贅沢なサロンカー(食堂車)など、この列車の設備は画期的なもので、乗車できたのは一握りの人々だけだった。「オリエント急行殺人事件」でも、個室を占拠しているのは貴族やアメリカの富豪たちであるのに対し、貴族の使用人や富豪の秘書、そして探偵ボアロは「相部屋」を使っている。当時のオリエント急行は、技術の進歩と富と象徴する人々の憧れの的だった。

一昨年、「ななつ星 in 九州」の登場が話題を呼んだことは記憶に新しいが、こうした豪華列車の元祖といえる、何となく「オリエント急行」である。一八八三年にパリ・コンスタントノーブル(現在のイスタンブール)間で運行が開始された豪華寝台列車。アガサ・クリスティの「オリエント急行殺人事件」が描いたのは、未完の自伝、留置所で体験を記したメモ、そして日記から、日本とフランスを愛し、二つの祖国に引き裂かれた一人の女性が立ち現れてきた。手稿のインクが滲んでいた。筆跡が乱れていた。肉筆はそれ自体で物語っていたのだ。



「キク・ヤマタと夫コンラッド・メイリ」(キクが切り抜いて持っていた新聞記事より)

神保町から古い店が段々に消えている。柏水堂が無くなくなったのは今年の話だ。あの包装紙と奥の喫茶室は昭和の色を遺していた。コーヒーマグも昔風だったが、あそこ洋菓子はよく合った。ふとした気の迷いで、デコレーションケーキを買って研究室でみんなで食べたのは二月の入学のことだったろうか。長い付き合いだったので、大抵のものは食べたことがあったのだ。デコレーションケーキはあの時が初めてだった。虫の知らせというのだろうか。九段下から神保町にかけて、ケーキを売っている店を三軒知っていた。九段下より

は誰かという店があり、九段温泉というお風呂屋さんとの関係のある店と聞いたことがあった。真偽はともかく、もう一軒は小川町よりエスワイルだ。こちらは移転したと聞いている。モンブランが有名で、古書会館の入り道、先輩に連れられてよく行った。靖国通りに面した店は元々出入りが激しいが、最近特に古い店がなくなっている。これでオリエント急行が近づいたらどうなるのだろうと心配でもある。

大規模開発で無くなった店では、早い時期にロシア料理のバラライカが無くなくなった。共に動けたころは、入試の弁当を出してもらっていた。ロシア料理の出前は初めての経験だった。店に行くとバラライカを演奏していた。神保町にはロシア料理店が多いと大妻の浜田義一郎先生に教えてもらった。「江戸たべもの歳時記」の著者だからいろいろよ

車が、父には忘れられない。死にのぞんでいるからさぞ、すっきりムードに浸ってしまった。車窓の外の景色は流れていく。腰かけ、遠い世界の旅人たちに思いを馳せるだけでも十分貴重な体験だった(おかげで出てきた紅茶とお菓子もずいぶんおいしく感じられた。ただし、注意点がひとつ。この豪華列車の見学は一日一回だけ、「乗客」は各回二十名までに限定されている。事前予約はできないので、体験したい人は早い時間帯にリリック美術館を訪れる。ひと時のタイムスリップへの切符を手に入れて下さい。(うらの かおる 専任講師・イギリス文学)

### 心象点描

## あれも食えないこれも食えない。

内田 保廣



青の車体にこのロゴが目印

娘が枕元に置いたカッパを見つめ、父親の意識は遠のいていくという内容だ。須賀は父の心情をこう推し量る、「死にのぞんでいるところからさぞ、すっきりムードに浸ってしまった。車窓の外の景色は流れていく。腰かけ、遠い世界の旅人たちに思いを馳せるだけでも十分貴重な体験だった(おかげで出てきた紅茶とお菓子もずいぶんおいしく感じられた。ただし、注意点がひとつ。この豪華列車の見学は一日一回だけ、「乗客」は各回二十名までに限定されている。事前予約はできないので、体験したい人は早い時間帯にリリック美術館を訪れる。ひと時のタイムスリップへの切符を手に入れて下さい。(うらの かおる 専任講師・イギリス文学)

く御存知で、ニコライ堂の存在と関連付けておられたのを憶えている。もう一軒、なくなったロシア料理店がカリンカという店だ。こはランチにしていた。小さな地下の店、広瀬写真の宮川さんとよく一緒に食べたものだ。開発で無くなった店に纏わりついた。アムールエーパンというパン屋さんも機会を逃した。店だ。いわゆるパン屋さんでレストランではないから、スエーデンで買った。大妻の共立高校卒業生たちの中には「お昼を買った人」も居たように、無くなった人にも何かからメールを買った。ひじきパンとか不思議なものがあった。残念ではあるが、どうしても食べたものはない。

一度入ってみようと思っていて気がついたら無い...という店もある。靖国神社が招魂社と言っていた頃があった

須田暁揮 画



フリス語(フランス文学)

好きな作品を見つける

「フランス文学概論」という授業を担当し、中世から現代までのさまざまな作家や作品を紹介しているが、何より願っているのは、好きな作家、好きな作品を見つけてほしいという...

「役に立つ」

「役に立つ学問」「役に立たない学問」という論点があります。それに対する私の見解を、ぜひ漢籍が読みたかったし。

プロフィール

上野 慎也 先生

(准教授)

昨年度より文芸学部文芸教養研究室に着任された上野慎也先生。東京大学、同大学院に進まれ、現在、共立ではギリシヤ語、ラテン語などを担当になられている。学生時代は専攻は西洋史、主にギリシヤ史とのこと。ギリシヤ史を専攻されたきっかけは「偶然の積み重ね」です。元々は中央アジアの歴史書や漢籍を読もうと...



入るのと一緒に読んでくると、ほいと言われ入ったんです。が、やはり漢籍が読みたかったし。学生時代は幅広く勉強されていたお話を伺った。かなりの努力家である先生は、日々の睡眠時間が非常に短く、本インタビュー前日も二時間ほどの睡眠だったそうです。一日二十四時間は足りません。授業の支度をし、自分の仕事と勉強をしようとするの寝られませんが、以前、五日間寝ないで原稿に...

はさておき、現在進行形で演劇学を専攻する皆さんは、「役に立たない」と思いながら学んでいるでしょうか。それとも「役に立つ」と思って学んでいるのでしょうか。ちなみに大学生だった私が演劇学をやろうと決めたのは、それが「役に立つ」からではなく、ただ学びたかったからでした。「そんな役に立たないことを」と周囲には随分言われましたが、損得ではなく自分の気持ちを動機に行動できたのは、本当に幸運だったと思います。

英語英米文学

多読のススメ

リーディング・マラソンでは、名作の短縮版(audioやe-book)や、伝記、映画のノベライズ版など、語彙量や英語力に応じてレベル分けしたものを(Graded Reader)を使い多読に取り組みます。語や表現にこだわらなから読む精読とは違い、自分のレベルに合わせて(一ページに知らない単語が二、三個くらい)、どんな本でも読むことがコツです。演習の成績に含まれるため、学期末に慌てて取り組む方もいるようですが、英語力アップのためには、一ヶ月に二、三冊のペースで学期を通して取り組むことをおすすめします。

造形芸術

自戒の念をこめて

造形芸術コースでは、論文だけでなく、作品提出による卒業が認められています。三年生は既にそれぞれの選択を済ませ、来年度へ向けて準備を進めているところでしょう。ただ、作品提出による卒業が認められています。三年生は既にそれぞれの選択を済ませ、来年度へ向けて準備を進めているところでしょう。

日本語日本文学

文学体験

今年度より日文研究部の助手になった市地英です。慣れないことばかりですが、色々な人に助けをもらいながら頑張っています。どうぞよろしくお願ひします。

読後、簡単なエッセイの提出が求められます。「何を書いたらいいかわからない」と思ったら、要約やあらすじをまとめてみましょう。物語であれば、好きなキャラクターや自分の名場面を紹介するのもいいですね。英作文では、読んだ英文からヒントをもらいましょう。自分のレベルにあった英語をたくさん読むことで、作文や会話で使う語彙や表現が身に付きます。多読というインプットを、エッセイでアウトプットへつなげ、英語運用能力を高めます。(杉村)

文芸教養

ブックマラソン

その困難さから文芸教養「日回峰行」と言われている(これは無い)ブックマラソン完走、おめでとう。満願成就です。(村上)



公共図書館での実習

司書課程カリキュラムの改正により、図書館実習は原則公共図書館で行うことになりました。これまでは本学の図書館で実習を行ってききましたが、外部の公共図書館での実習は、履修する学生のみならず教員にとっても得るところが大きいと思われま。

就職課程

三次は決断のとき

一年、二年と履修を積み重ねてきた就職課程履修者にとって、三次は決断のとき。就職課程最大の課題「教育実習」のための受け入れ校を確保しなければなりません。全体に歓迎されないところへ教員免許取得のために、久々の出身校へたつてのお願ひに出向くのである。

皆さん高校生の頃、周囲の人から「高校で何を勉強しているの?」とは、ほとんど聞かれましたが、卒業論文です。論文の執筆には、学生時代に吸収した多くのことが活かされます。授業で学んだことはもちろん友人との会話や趣味から得たことも卒業論文には繋がっていきはります。卒業に向けて自分が知らなかったこと、面白く感じることがたくさん見つかる学生生活を送ってほしいと思います。(野際)

ひと言ふた言

何を勉強しているの

私が、大学に入った頃「何を勉強しているの」と聞かれると「物理です」と反動的に所属学科名を返答してしました。大方の「ふつうのひと」はその「へー」という反応くらいで、別の話題に移ります。しかし、一部の「しつこいひと」(興味を持っている人)は、「へー」で、物理の何を勉強しているの?と続き、適当な授業名などを答えると、大概「...って何?」と確問答が始まり、一年生の頃は少々戸惑ったものです。これが四年生にもなると、最初の問いで「実験系のプラズマ物理でE×B質量分析装置を...」と喜んで研究テーマについて語るようになっていました。

大学院文芸学情情報

大学院へ進学するため高い。高学歴になりすぎると、(そんなことを言う人が気になるなら、その人の価値観に囚われることになる。)就職が不利になる。(大学院に進学したからこその得られる職もある)、勉強についていけない。(ほとんど個人指導に近い教育環境なので、先生もあなたに合わせる必要があります。)

未知と出会う

今年度より、文芸メディア研究室の助手となりました。野際萌未と申します。今年三月に共立女子大学を卒業し

文芸メディア

△本学部では文芸教養演習I、II、風土と文芸A、都市と文芸A、ラテン語、ギリシヤ語、卒業論文ゼミナールをこ

未知と出会う

今年度より、文芸メディア研究室の助手となりました。野際萌未と申します。今年三月に共立女子大学を卒業し

未知と出会う

今年度より、文芸メディア研究室の助手となりました。野際萌未と申します。今年三月に共立女子大学を卒業し

未知と出会う

今年度より、文芸メディア研究室の助手となりました。野際萌未と申します。今年三月に共立女子大学を卒業し